

## フルコンサートグランド 使用上の注意

コンサート用楽器の性能維持、本番時の安定確保のため、遵守すべき点、留意すべき点があります。利用者はこれらに十分気をつけてください。

- 1 使用を希望する時には、必ず公民館にホール利用申請を行い、また1ヶ月前までにコミュニティ・コア研究会（以下コア研）ピアノ管理委員会に別に示す書式の使用申請兼使用計画書を提出してください。
- 2 使用申請は団体に限り、個人単位での使用は認めません。使用目的はコンサート、発表会およびそのリハーサルを原則とし、その他ピアノ管理委員会が特に認めた場合に限りです。
- 3 利用計画が認められた後、使用者は2週間前までに別に定めるピアノ調律費用を下記口座に振り込むか、ピアノ管理委員会担当者に直接お支払いください。

郵貯銀行 10550-74614651  
店番058 店名 ○五八店(ゼロゴハチ店)  
普通預金7461465  
幕張ベイタウン自治会連合会  
コミュニティコア研究会ピアノ管理委員会

- 4 ピアノはコア研ピアノ管理担当者の管理下でセッティングしてください。
- 5 ピアノの移動は台車を用いてください。振動を与えることでピアノに負担がかかることを避けるためです。ただし、ステージ上での位置の微調整はこの限りではありません。
- 6 キャスターは必ず2カ所のストッパーを確実にかけ固定し、ステージからの転落事故などが無いよう安全確保を図ってください。
- 7 大屋根を開け支柱を入れるときは、右図のように支柱の先端に指を添え保護しながら所定位置に入れ、支柱の先端を大屋根に当てぬ様十分に気をつけてください。
- 8 ピアノ内部には一切手をふれてはいけません。必要に応じて手をふれるのは技術者と管理担当者のみとします。
- 9 ピアノを破損するおそれのある奏法、ピアノ本体に異物を取り付けての演奏を禁じます。ただし、弦を直接はじく等の特殊な奏法については、ピアノ管理者に相談してください。
- 10 原則として調律はホール指定の技術者が行います。演奏者指定の調律師がいる場合はピアノ管理担当者と相談してください。
- 11 音律やピッチを変更した場合、原則として平均律・442Hzに戻してください。
- 12 万が一何らかの損傷を与えたときは必ず報告してください。
- 13 損傷を与えたときは修復費用を負担していただきます。



1ヶ月前まで

ホール使用申請（公民館事務室へ）

ピアノ利用計画書提出（コア研ピアノ管理委員会へ）→使用許諾を判断しご連絡します。

2週間前まで

ピアノ調律料振り込み。

またはピアノ管理委員会に直接支払い

郵貯銀行 10550-74614651
店番058 店名 ○五八店(ゼロゴハチ店)
普通預金7461465
幕張ベイタウン自治会連合会
コミュニティコア研究会ピアノ管理委員会

※ 2009年より、調律担当会社の変更にもなって料金も変更となっております。  
また、振込先は郵貯銀行に一本化いたしました。

当日

コア研ピアノ管理担当者^立ち会いの元でセッティングを行う。  
(指定技術者が調律を行う。)

利用終了後、外装および鍵盤の清掃を行い、楽器庫内の元の位置に戻す。

● **ピアノ調律料（2013/6/16 現在）**

調律のみ	¥22,000-+消費税※ +維持管理寄付金（¥8,000）
調律とリハーサル立ち会い	1時間につき ¥4,000-+消費税※ +維持管理寄付金（¥8,000）

※消費税率は、本番調律日時に有効な税率でお支払い下さい。

● **調律を伴わない使用について（2013/6/16 現在）**

ピアノ管理委員会に、利用に伴って維持管理のための寄付をいただいています。	
維持管理寄付金	¥8,000-

## FAZIOLI 使用申請・利用計画書

コミュニティ・コア研究会 ピアノ管理委員会様

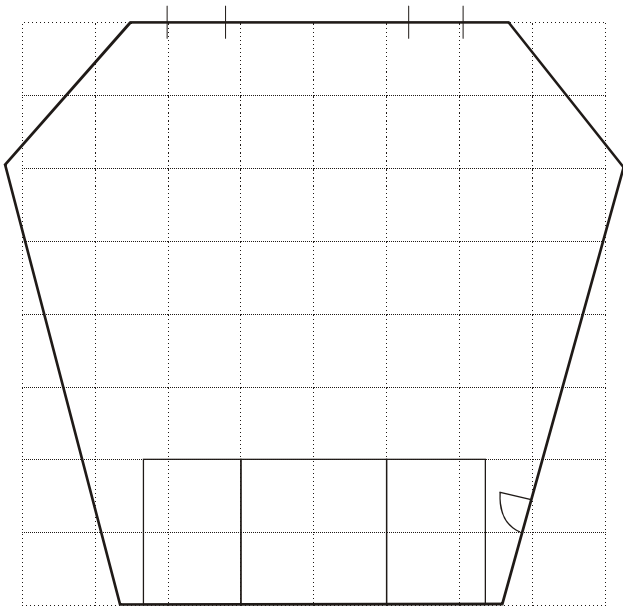
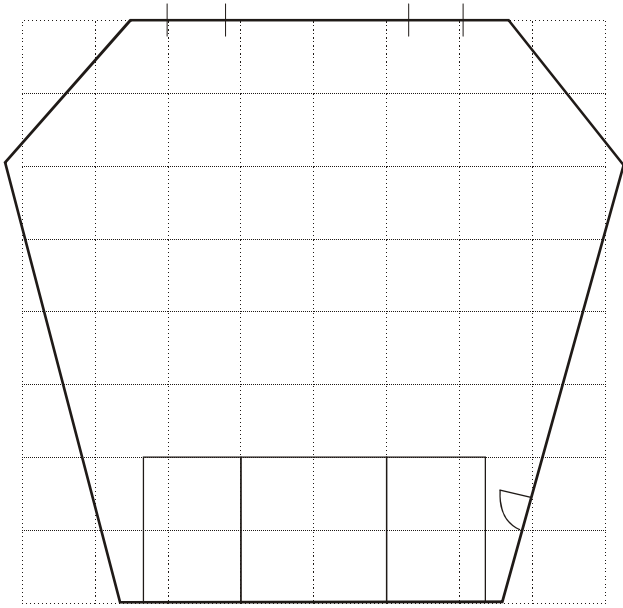
私たちは FAZIOLI F 2 7 8 の使用を申請いたします。

使用にあたっては「使用上の注意」・「利用マニュアル」を遵守いたします。

(申請年月日) 年 月 日 ( )
(使用年月日・時間) 年 月 日 ( ) : ~ :
(利用申請団体名)
(代表者氏名)
(住所)
(電話番号)
(FAX番号)

●利用目的 (コンサート名、コンサート内容等)
●ピッチ A = Hz (古典音律についてはご相談ください)。

●時系列利用計画



※昇降ステージ・移動ステージの高さも記入してください。

【備考】

時間	内容

## FAZIOLI 使用マニュアル

### ● 台車&移動 ●

- ・ピアノ底部にある、ゴムシート部に台車をあわせる。このとき二人であわせた方がよい。
- ・台車の昇降レバーを上下させて持ち上げる。上げ幅は10cmまで。
- ・台車の車輪があらぬ方向を向いていると、動かしはじめに大変な力が必要。勢いでぶつけないように注意すること。
- ・ピアノ庫からの搬出時は、回転時に周囲と干渉しやすい。特に台車のレバーを壁や扉に引っかけやすいので細心の注意が必要。
- ・ピアノを下ろすとき、台車のレバーを握って下ろすが、勢いよく落ちるので細心の注意が必要。この作業は指導を受けたもの以外には行ってはいけない（他のホールに油圧式の台車は少なく、一般的なネジ式の台車を使ったことがあるだけでは正しく使えない）。

### ● ステージ設置 ●

- ・適切な位置が決まったら、キャスターのロックを行う（右回しで固定）。
- ・大屋根開閉は、可能な限り二人で作業すること。
- ・支柱を立てるとき、支柱の先端を指で包み、大屋根に先端をこすりつけないように配慮する。
- ・キャスターは、鍵盤側をハの字になるように向けると、ピアノ全体のぐらつきがおさえられ、音がしまる。

### ● その他 ●

- ピアノはできるだけ前日にセッティングを終え安定させた上、本番と同じ照明を当てた状態で、本番直前に調律を行うことが望ましい。  
<急激な温湿度変化により不安定となり、本番中に音質の不安定やアクション・調律の狂いなどが生じることを避けるため。>
- 調律は利用ごとに事前に行うのが望ましい。  
<本ホールでは定期調律は実施していないため、狂いが生じていることが多い。>
- ピアノ外部に手をふれるときは素手で直接さわらぬことが望ましい。移動時は布や革手袋などを持ちいるとよい。指紋をふき取る手間が省ける上、ふき取り作業で傷を付けるリスクを避けられる。